

31112 保健福祉行政論 Theory of Health and Welfare Administration		2 年次～ 後期 2 単位	
担当者	瀧澤 利行	履修可能学科	N 必
		関連資格	看護・保健 (N)
サブタイトル	わが国における保健福祉行政の歩みと現状		
授業内容 ・ ねらい	わが国の国民の健康と生活を成り立たせるために重要な行政のシステムがどのような経緯を経て確立してきたかを理解し、地域保健行政の組織と運営に必要な知識を身につけるために、以下の項目について体系的に学習することを目的とする。 1) 日本における保健福祉医療の活動を支えている基本的な思想とその目的を理解する。 2) 日本における保健福祉行政の成立過程について基本的知識を習得する。 3) 日本の保健福祉行政の法体系を理解する。 4) 日本における保健福祉行政のシステムを領域別に認識する。 5) 各領域ごとに展開されている活動の実態を把握する。 6) 日本における保健福祉行政の課題について考察できるようにする。		
授業計画	1) 保健福祉の理念とそれを支える思想 2) 保健福祉行政の歴史的展開 (その1) 3) 保健福祉行政の歴史的展開 (その2) 4) 保健福祉の法体系 5) 行政の組織と運営 6) 財政の構造 7) 社会保障行政とその領域 I (年金制度、医療保険制度) 8) 社会保障行政とその領域 (雇用保険制度、労働者災害補償保険制度) 9) 社会福祉行政 I (公的扶助、社会手当) 10) 社会福祉行政 II (対象別福祉、地域福祉) 11) 介護保険制度 12) 保健行政 I (保健医療行政の仕組み) 13) 保健行政 II (地域保健行政制度) 14) 保健行政 III (労働安全衛生、学校保健) 15) 健康づくり政策		
教科書 参考書	教) 標準保健師講座別巻 1 『保健医療福祉行政論』 (医学書院) 参) 厚生統計協会編 『国民衛生の動向』		
評価方法	筆答試験のみによる。試験は国家試験問題に準じて出題する。		
事前準備学習 履修条件等	まず、高等学校の現代社会または政治経済で学習した日本の行政システムについての内容を予備的に学習しておくこと。また、日本国憲法を熟読すること。		